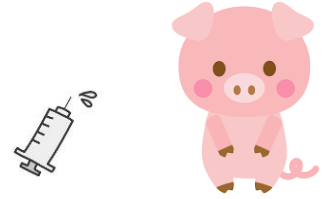


日本脳炎（第2期）ワクチン定期予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良い時に受けましょう。

- | | |
|------------|---|
| 1 接種期間 | 9歳～13歳の誕生日の前日 |
| 2 標準的な接種期間 | 9歳に達した時から10歳に達するまで |
| 3 接種回数 | 1回 |
| 4 接種場所 | 別紙「予防接種協力医療機関」日本脳炎に○印のある医療機関
※医療機関へ事前に予約をしてから接種してください。 |
| 5 持ち物 | 予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳 |
| 6 費用 | 無料（公費負担）※対象年齢を過ぎると実費になります。 |



7 日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。

飼育されているブタの体内で増えたウイルスが蚊（コガタアカイエカ）によって媒介され感染します。

潜伏期は7～10日で、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれん等の症状を示すウイルス性の急性脳炎です。

ヒトからヒトへの感染はありません。感染した人のうち、100～1,000人に1人が脳炎を発症します。

脳炎にかかった時の致命率は約20～40%ですが、治った後に神経の後遺症を残す人が多くいます。

近年、西日本の高齢者を中心に発症していますが、若年者の発症も見られます。

8 予防接種の効果

第2期の接種は、第1期の抗体のレベルを維持するために必要です。日本脳炎1期の予防接種をしていない方は3回接種（有料）をしてから2期を接種すると必要な抗体が得られます。

9 ワクチンの副反応

接種後37.5℃以上の発熱0.4%、接種部位の腫れ3.8%、じんましん0.4%の報告があります。

発熱や接種部位の腫れは接種1日目に多くみられます。

重篤症例は、10万接種当たり0.7です。

（令和元年9月第43回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料より）

R3. 4. 1

<お問合せ先>伊那市役所健康推進課予防係 電話0265-78-4111 内線2332